

公益法人移行後の大学図書館部会

大学図書館部会の現在

江川和子

1. 概況

大学図書館部会は「大学図書館の発展及び会員の資質向上を図ること」を目的とし、「会員の研修」「研究調査」「その他の事業」を行うと部会規程に定められている。2014年度末の会員数は1,124（施設会員678、個人会員441、ほか賛助、学生会員）である。

2. 組織と役員等

部会の役員として、部会長と部会委員が置かれている。部会長1名は、国立大学図書館協会、公立大学協会図書館協議会、私立大学図書館協会の

飯島昇蔵	早稲田大学図書館	館長	部会長
高橋 努	東京大学附属図書館	総務課長	施設会員委員
内島秀樹	筑波大学附属図書館	情報管理課長	施設会員委員
富岡俊次	横浜国立大学学術情報センター	学術情報課長	施設会員委員
辻 隆	首都大学東京学術情報基盤センター	事務長	施設会員委員
荘司雅之	早稲田大学図書館	事務副部長兼総務課長	施設会員委員・部会長館
関 秀行	慶應義塾大学メディアセンター	本部総務担当課長	施設会員委員
逸村 裕	筑波大学大学院	図書館情報メディア系教授	個人会員委員
上村順一	東京海洋大学附属図書館	情報サービス係長	個人会員委員
小山憲司	日本大学文理学部	教育学科教授	個人会員委員

3団体から推薦された者が、原則として交代でつとめている。また部会委員は、施設会員（国公立大学より各2名、部会長館より1名）と個人会員3名から成り、委員会を構成する。年1回の部会総会を開催しているが、会務の多くは部会委員会で審議している。

2014年1月21日に日本図書館協会が公益法人に移行した時点の部会役員は前表のとおりであった。

また公益法人日本図書館協会における最初の代議員（施設会員）として、大学図書館部会からは以下の7名を選出した。

東北大学附属図書館	植木 俊哉
名古屋大学附属図書館	佐野 充
京都大学附属図書館	引原 隆士
名古屋市立大学総合情報センター	三澤 哲也
立命館大学図書館	平野 仁彦
明治大学図書館	金子 邦彦
愛知学院大学図書館情報センター	白石 浩之

移行から1年半になるが、部会長を国公立大学の交代制としていること、国公立大学では職員の間や館長の交代が定期的にあることから、部会役員の入れ替わりも多い。2015年6月現在の役員、代議員は次ページ表のとおりである。

3. 主な事業

近年、大学図書館部会が実施している定例的な事業は2つある。第一に、毎年11月に横浜で行われる図書館総合展において、国公立大学図書館協力委員会と共催で大学図書館シンポジウム（大学図書館研究集会）を開催している。2014年には「大学図書館と研究支援－研究を知る3つのキーワードから－」をテーマとし、①APC（Article Processing Charge）：学術情報流通のコスト、②peer review：学術情報の品質保証、③URA（University Research Administrator）：研究活動の企画・マネー

中山伸一	筑波大学附属図書館	館長	部会長
木下 聡	東京大学附属図書館	総務課長	施設会員委員
北村照夫	筑波大学附属図書館	情報管理課長	施設会員委員 ・部会長
宮部 一	横浜国立大学学術情報センター	学術情報課長	施設会員委員
辻 隆	首都大学東京学術情報基盤センター	事務長	施設会員委員
荘司雅之	早稲田大学図書館	事務副部長兼 総務課長	施設会員委員
関 秀行	慶應義塾大学メディアセンター	本部総務担当 課長	施設会員委員
逸村 裕	筑波大学大学院	図書館情報メ ディア系教授	個人会員委員
上村順一	国立情報学研究所 学術情報推進部学 術コンテンツ課	係長(学術コ ンテンツ整備 チーム)	個人会員委員
小山憲司	日本大学文理学部	教育学科教授	個人会員委員

ジメントとの関係、という3つのキーワードを取り上げ、大学図書館が大学の研究活動に対してどのように貢献できるのか、今後の方向性について討議し、207名が参加した。図書館総合展は短期間に多様なフォーラムが集中的に開催されることから、遠隔地からの参加者も多く、この催しを利用して、大学図書館員の啓発と育成に資するシンポジウムを開催することは非常に効果的である。また国公私協力委員会と運営・資金面で協力することにより、海外からスピーカーを招聘する(2013年度)などの企画も可能となっている。

第二に、全国図書館大会への参画である。2014年の第100回全国図書館大会東京大会においては、大学図書館部会有志が企画した第5分科会「大学の知の発信システムの構築～機関リポジトリの更なる発展をめざして～」を後援した。2013年から学位論文のインターネット公開が義務づけられたこともあり、機関リポジトリとそれを支えるJAIRO Cloudに対する大学図書館関係者の関心は高く、75名が参加した。

4. その他

2015年4月から6月にかけて、委員(個人会員)候補者の選考手続きを簡素化するため、「部会委員

東北大学附属図書館	植木 俊哉
名古屋大学附属図書館	森 仁志
京都大学附属図書館	引原 隆士
名古屋国立大学総合情報センター	三澤 哲也
東洋大学図書館	青木 辰司
学習院大学図書館	脇坂 明
福岡大学図書館	則松 彰文

会委員(個人会員)候補者選考内規」および「部会委員会における委員(個人会員)候補者の推薦に関する申し合わせ」を改正し、公益法人移行に対応していなかった部会規程を改正するなど、運営上の懸案の解決を図っている。

(えがわ かずこ: 日本図書館協会大学図書館部会選出理事、
筑波大学附属図書館副館長)